

教職実践演習に向けた取り組み — 函館校の事例 —

北海道教育大学函館校

教職課程運営委員会

担当者： 上山 恭男

協力者： 教職スーパーバイザー

繪面 和子， 武田 隆雄

函館校 新課程

- 人間地域科学課程(330名)

人間発達専攻(60名):幼稚園,小学校,特別支援学校
(分野:心理学,教育学,障害児臨床)

国際文化・協力専攻(60名):英語(中・高),国語(中・高)
(分野:日本語・日本文化,欧米文化,国際協力)

情報科学専攻(60名):数学(中・高)
(分野:基礎情報,社会情報,情報デザイン)

地域創生専攻(80名):社会(中・高)
(分野:地域計画,地域文化,地域福祉)

環境科学専攻(70名):理科(中・高)
(分野:生命・地球環境科学,物質・エネルギー環境科学,生活環境科学)

1 運営体制

1-1 全体的な指導

- ・ 教職課程運営委員会(入学時と後期授業開始時のガイダンス)
- ・ 教育実習委員会(事前・事後指導)
- ・ 介護等体験実習委員会(事前指導)
- ・ カリキュラム委員会

1 運営体制

1-2 授業を通しての指導

- ・ 教育の基礎と理念
- ・ 発達と学習
- ・ 実践フィールド研究(フレンドシップ, 介護等体験, 学校体験, へき地・複式教育実習)
- ・ 教職に関する科目
- ・ 進路開発1(基礎), 進路開発2~4(教職)

1 運営体制

1-3 個々の学生への指導

- ・ (専攻 / 分野の) アカデミックアドバイザー
- ・ 教職スーパーバイザー
- ・ 就職相談員 (教職関係)

2 本年度の取り組み

		前 期	後 期
1年	教育の基礎と 理念, 発達と学習	学期末のテストの残り時間または最後に全体的な振り返りの場面を設定し, 受講者に指導する.	学期末のテストの残り時間または最後に全体的な振り返りの場面を設定し, 受講者に指導する.
	実践フィールド 研究(フレンドシップ)	ワークシートによるチェック作業を指導する.	最終レポートとチェックシート(電子ポートフォリオ)の確認を指導する.
	教職に関する 科目	学期末のテストの残り時間または最後に全体的な振り返りの場面を設定し, 受講者に指導する.	学期末のテストの残り時間または最後に全体的な振り返りの場面を設定し, 受講者に指導する.
	進路開発1 (基礎)	教職志望の学生に対して, 教職実践演習受講の要件になる電子ポートフォリオを作成する意義について指導する.	

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-1 対象

函館校3年次,4年次学生で,幼稚園,小学校,中学校,特別支援学校,高等学校の教育実習を行った延べ220名で,教育実習自己計画書(チェックリスト)のアンケートを提出した有効回答数は99名である.

3-2 実施期間

平成22年5月~9月

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-2 チェックリスト集計(選択項目)

・学習指導

学生が最も多く選択した項目番号ベスト3

1-3-3-3(42名) , 1-3-3-5(21名) , 1-3-4-1(20名)

・児童・生徒の理解

学生が最も多く選択した項目番号ベスト3

2-2-12(16名) , 2-3-3(16名) , 2-2-9(14名)

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-2 チェックリスト集計(選択項目)

- ・社会性・対人関係

学生が最も多く選択した項目番号ベスト3

3-1-5(24名), 3-1-9(17名), 3-1-10(15名)

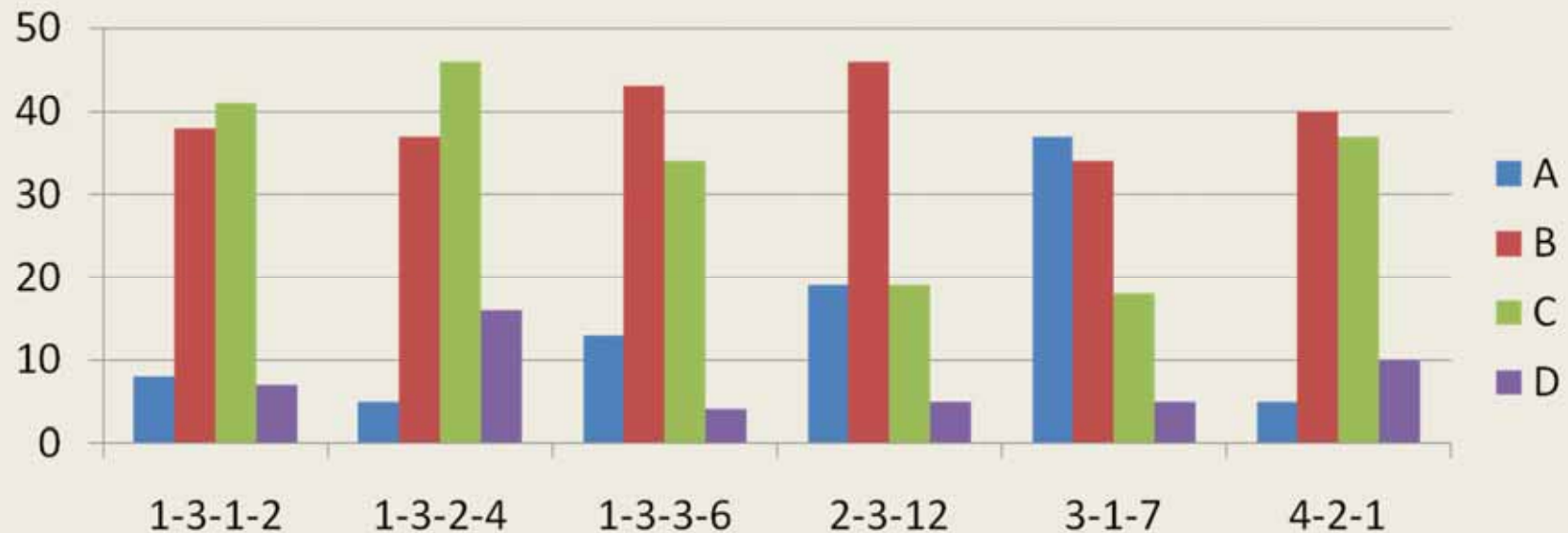
- ・教育的愛情・使命感・責任感

学生が最も多く選択した項目番号ベスト3

4-2-2(36名), 4-1-2(27名), 4-2-3(22名)

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-3 チェックリスト集計(固定項目)



1-3-1-2
児童生徒の本時学習内容に関わる前時及び既習内容についての理解や習熟の程度を把握する。

1-3-2-4
大学で学んだ専門的知識・技能や指導教員の指導、助言等を基に、「教えること」と「育てること」のバランスを考えた学習指導案を作成する。

1-3-3-6
いろいろな指導技術を適切効果的に活用する。

2-3-12
児童生徒が学級活動への意欲を高めるための言葉かけや励ましの大切さと、その方法について理解する。

3-1-7
実習先の教職員や実習生と意識的にコミュニケーションを図る。

4-2-1
児童生徒に寄り添い、受容的共感的に対応するとは具体的にどのようなことなのかを事例などを通して習得する。

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-4 チェックリストの活用効果(学生の記述より)

- ・多くの学ぶ機会がある教育実習で、少しでも多く学ぶためにチェックリストが活用できたと思う。
- ・実習の中間ぐらいにチェックリストを見直し、毎日立てていた目標に活用することができてよかった。
- ・チェックリストを実習中にもっとたくさん見ておけば、もっと活用できたと思った。チェック項目が明確にされていて分かりやすかったので、具体的に反省点が見つかった。
- ・チェックリストを何度か見直しながら実習に臨んでいたため、一日一日を大切にしながら実践できたと思う。

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-4 チェックリストの活用効果(学生の記述より)

- ・このチェックリストで振り返ってみると、達成できたことと、これから伸ばさなければならないことが明らかになった。
- ・先生方の指導やチェックリストの活用によって、生徒が意欲的に学べるような授業づくりにつて、考えを深めることができた。
- ・実習中は特に授業をすることに集中しがちだが、チェックリストを見直しながら生徒とのコミュニケーションをとることなどにも気を配るようにした。

3 チェックリストの活用 (H-22教育実習の場合)

3-5 要望(学生の記述より)

- ・事前の項目には、教師を目指したら知っておくべき項目もいくつか含まれているように感じた。そのために、実習直前に配るのではなく、教職の授業が始まった2年生の頃から配ってもいいのではないか。
- ・幼稚園のための項目が欲しい。 去年、幼稚園実習に行き、特に学習項目が使いにくいと感じた。遊びを通したものや教師との信頼関係、環境作りなどの項目があるといいと思う。

4 次年度以降の取り組み

2年	実践フィールド研究 (介護体験, 学校体験, フレンドシップ)	ワークシートによる チェック作業を指導する.	最終レポートとチェックシート(電子ポートフォリオ)の確認を指導する.
	教職に関する科目	学期末のテストの残り時間または最後に全体的な振り返りの場面を設定し, 受講者に指導する.	学期末のテストの残り時間または最後に全体的な振り返りの場面を設定し, 受講者に指導する.
	進路開発2(教職)		教職志望の学生に対して, 教職実践演習受講の要件になる電子ポートフォリオを作成する意義について指導する.

4 次年度以降の取り組み

3年	実践フィールド研究 (フレンドシップ)	ワークシートによる チェック作業を指導する。	最終レポートとチェック シート(電子ポートフォリ オ)の確認を指導する。
	教育実習事前事後指 導	ワークシートによる チェック作業を指導する。	最終レポートとチェック シート(電子ポートフォリ オ)の確認を指導する。
	教育実習	ワークシートによる チェック作業を指導する。	最終レポートとチェック シート(電子ポートフォリ オ)の確認を指導する。
	進路開発3(教職)		教職志望の学生に対し て、教職実践演習受講 の要件になる電子ポ ートフォリオを作成する 意義について指導する。

4 次年度以降の取り組み

4年	教育実習(母校実習)	ワークシートによるチェック作業を指導する。	最終レポートとチェックシート(電子ポートフォリオ)の確認を指導する。
	実践フィールド研究(へき地・複式教育実習)	ワークシートによるチェック作業を指導する。	最終レポートとチェックシート(電子ポートフォリオ)の確認を指導する。
	進路開発4(教職)	教職実践演習受講の要件になる電子ポートフォリオを作成し,チェックシート(電子ポートフォリオ)の確認を指導する。	

5 今後の課題

- ・ 早期の教職意識高揚，教職選択の学生把握
- ・ 教職実践演習に向け，チェックリストと電子ポートフォリオの周知徹底，さらに電子ポートフォリオへのデータ入力・保存・蓄積
- ・ 教職実践演習の具体的内容と指導体制の検討